

# 地域に学び、ひとを育て、 未来が輝くまちづくり

～みんなで育てる九重っこ  
ここのえ学園基本計画～

地域の  
特色ある  
活動

## 大分県九重町教育委員会

### 1 はじめに

九重町は、大分県の南西部に位置しており南西は熊本県に接しています。東南



には、久住山、大船山、三俣山等 10 有余の標高 800 m から 1,764 m に達する九州の屋根の名峰連なる九重山群に囲まれています。気候は変化が激しく、九州でありながらスキー場があります。さらに、地熱資源をはじめ豊富な資源を有し、自然景観にも恵まれています。

町内には、小学校 6 校、中学校 1 校、584 名の児童生徒が学んでいます。

### 2 本町の教育について

本町においても少子化による児童生徒数の減少が急激に進み、中学校は平成 25 年に 4 校からここのえ緑陽中学校の 1 校に統合しました。統合の際に、地域から中学校入学時点での 6 小学校間の指導の格差や、中 1 ギャップ、いじめ・不登校の増加を心配する声があがってきました。そこで、町民全体に対して意識調査を行い、課題を整理し、九重町の教育の方向性を出しました。これらをまとめたものが「ここのえ学園基本計画」です。

### 3 ここのえ学園基本計画について

#### (1) 目的

九重町の抱える教育課題を解決するために、こども園・小学校・中学校・公民館を中

心に保護者・地域住民・各種団体が協議・連携して取り組むコミュニティの創造を目的としています。

#### (2) スローガン

「子どもたちの『15 の春』のあるべき姿をめざして教育改革に取り組む」というスローガンのもと、計画を推進しています。

#### (3) 各取組について

##### ① 6 年生集合学習

社会見学、修学旅行を 6 小学校合同で行います。また、ここのえ緑陽中学校に集合して合同で教科学習を行います。今年度は体育と外国語の授業を行いました。



社会見学の様子 吉野ヶ里歴史公園にて

##### ② 5 年生集合学習

社会見学を合同で行い、見学前後に合同で社会科の授業を行います。また、交流のため、1 学期に「スポーツ鬼ごっこ」を行います。



今年度のスポーツ鬼ごっこの様子

##### ③ 集合学習につなげるための共通指導 (学習面・生活面)

集合学習や中学校入学に備え、学習と生活のきまりをつくり、各小学校で統一した指導を行っています(授業中に机上に準備する用具について、始めと終わりのあいさつについて、発表の仕方やルールについて、ノーマディアデー等)。

#### ④ つながり学習

九重町には幼保連携型認定こども園が2園設置されています。小1プロブレムへの対応として、こども園と小学校との交流「つながり学習」を組織的に行っています。

小学生がこども園に行く活動と、園児が小学校に行く活動、園児の小学校の運動会への参加等を行っています。

#### ⑤ 体力向上

体力調査の結果をもとに体育専科教員と中学校体育担当者が、児童生徒の課題を克服するための取組を検討し、実行しています。

#### ⑥ 食育指導

「ここのえ学園食育全体計画」に沿って各校の食育全体計画を作成しています。また、各学校で年間2回以上、町に配置されている栄養教諭を招聘して食育指導を行っています。また月に2回程度、給食の時間を活用して栄養教諭によるオンライン指導も行われています。

#### ⑦ 人権教育・部落差別解消推進教育

小学校1年生から中学校3年生まで系統性を持って指導を行うため「九重町人権共通教材」を作成し実践しています。指導内容をより充実させるために共通教材を用いた授業実践の交流にも力を入れています。

社会科の歴史授業において部落問題学習の視点を持ちながら授業実践をするため、小学校6年生の担任の定期的な学習会を開催しています。

#### ⑧ ここのえ学

「ここのえ学」では、地域での体験活動や人との関わりを通して、郷土を愛する心を育てます。系統的な学習を積み重ね、中学校では、さらに深化・発展した地域学習に取り組めます。中学校3年時には、これまでの学びの集大成として、町に対してまちづくりの提言を行います。



タデ原湿原キッズガイドの様子

## 4 おわりに



中学校台湾姉妹校との交流の様子

昨年度のアンケートによると、集合学習を経験した児童の大多数が人間関係づくりに自信をつけていました。中学入学後についても環境の変化にスムーズに適応できています。また、つながり学習を経験した小学校1年生も、顔見知りになった6年生がいることで安心して過ごさせています。

「九重町第5次総合計画」の教育分野の目標には「地域に学び、ひとを育て、未来が輝くまちづくり」が掲げられています。人口減少の進む中、九重町の教育を充実させること、学校が地域の文化の中心として、地域と連携して様々な取組を行うことが、この目標を具現化することにつながると考えます。

九重町の未来を担う子供たちを、九重町民全員で大切に育てることは九重町にとって欠かせないことです。「ここのえ学園」の取組はその第一歩です。今後も「ここのえ学園基本計画」の深化・発展に努めてまいります。



教育長  
時松 栄子